

# 令和6年度 第1回技術研修会のご案内

日 時	令和6年7月5日(金) 13:30～16:30
会 場	アバンセホール(佐賀県立生涯学習センター) (佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011)
主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後 援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタント協会
テ ー マ	「災害対応支援と唐房バイパスの整備」
研修項目	(1) 13:40～15:00

「大規模災害に備えるために事前復興について考える  
～URの災害対応支援の経験から～」

UR都市機構 西日本支社

技術監理部総括役

渡邊 征爾 氏

日常生活でいつ襲ってくるかわからない大規模災害を、常に意識することは困難なことがあります。しかしながら、備え無しに被災すると、被害規模が大きいほど、復興に要する時間と労力は莫大なものとなります。また、復興まちづくりのための事前準備の程度によっても、復興後のまちの水準が違ってくるかとされています。

宮城県女川町で実際にまちづくりに携わった講師が、URがこれまでに行った東日本大震災などでの支援経験から得た、教訓や知見をお話しし、事前復興まちづくりの気づきのきっかけとなる機会を提供します。

(2) 15:10～16:30

「唐房バイパス(ルート・グランブルー)の概要について」

佐賀県唐津土木事務所

副所長

村井 満 氏

工務第一課 課長

坂本 弘明 氏

一般国道204号は、佐賀県唐津市を起点に東松浦半島の玄海灘沿岸を周回し、長崎県佐世保市に至る総延長約162kmの幹線道路であり、半島には玄海国定公園や名護屋城址跡などが多く存在し、文化・観光及び産業交流の一翼を担う幹線である。

しかしながら、当該バイパス区間の現道は、線形不良や幅員狭小で歩道もなく危険であった。また、朝夕の通勤通学時間帯を中心に慢性的に渋滞が発生し交通に支障を及ぼしていたため、地域交通の安全確保や渋滞の緩和を目的とし、唐房バイパス事業として令和5年11月に供用開始を行ったのでバイパス概要及び唐房トンネルを紹介する。

また、唐房バイパスを抜けて、美しい景色を楽しみながら「ルート・グランブルー」を周回して唐津玄海地域における人やモノの交流がさらに促進されることを期待している。

対象者	地方公共団体等職員、建設事業関係者(県内優先)、一般の方(大学生以上)
定 員	300名
参加料	無 料
申込方法	当機構のホームページ( <a href="https://www.sagacat.or.jp/gijyutsukensyuu.html">https://www.sagacat.or.jp/gijyutsukensyuu.html</a> )よりお申し込みください。1社につき3名まで受け付けます。 『研修情報』→『技術研修会』→『令和6年度第1回技術研修会申込』をクリック!

申込期間	令和6年6月10日(月)14:00～令和6年6月21日(金)17:00 (定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施。) 令和6年6月24日(月)14:00～令和6年6月28日(金)17:00 予定
------	--

問合せ先	(公財)佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-97-5596
------	---

その他	(1)車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。 (2)座席は全席指定席となります。
-----	---

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS、(一社)建設コンサルタント協会CPDの認定プログラムに申請しています。